



## II 【財務諸表】

## 【i シェアーズ・コア 日本国債 ETF】

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

		当特定期間末 (2020年7月11日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
金銭信託		24,445,903
国債証券		10,126,435,771
未収利息		8,836,617
前払費用		10,325,603
流動資産合計		10,170,043,894
資産合計		10,170,043,894
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払収益分配金		7,417,832
未払受託者報酬		218,136
未払委託者報酬		654,459
その他未払費用		391,652
流動負債合計		8,682,079
負債合計		8,682,079
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本		10,384,964,800
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)		△223,602,985
(分配準備積立金)		2,474,990
元本等合計		10,161,361,815
純資産合計		10,161,361,815
負債純資産合計		10,170,043,894

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	当特定期間 (自 2020年 2月25日 至 2020年 7月11日)
営業収益	
受取利息	11,727,885
有価証券売買等損益	△74,102,084
営業収益合計	△62,374,199
営業費用	
受託者報酬	226,136
委託者報酬	678,510
その他費用	650,417
営業費用合計	1,555,063
営業利益又は営業損失 (△)	△63,929,262
経常利益又は経常損失 (△)	△63,929,262
当期純利益又は当期純損失 (△)	△63,929,262
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	-
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,800,400
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,800,400
剰余金減少額又は欠損金増加額	154,776,291
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	154,776,291
分配金	7,697,832
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△223,602,985

### (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

#### 1 有価証券の評価基準及び評価方法

公社債は個別法に基づき、原則として以下の通り時価で評価しております。

##### (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券

金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として当該取引所等における特定期間末日において知りうる直近の最終相場で評価しております。

##### (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券

当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値(平均値)、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。

##### (3) 時価が入手できなかった有価証券

適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

#### 2 収益及び費用の計上基準

有価証券売買等損益の計上基準

約定日基準で計上しております。

## (貸借対照表に関する注記)

項目	当特定期間末 (2020年7月11日現在)
1 当該特定期間の末日における受益権総数	3,708,916口
2 投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額	元本の欠損 223,602,985円
3 1口当たり純資産額	2,739.71円

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	当特定期間 (自 2020年2月25日 至 2020年7月11日)	
分配金の 計算過程	(自 2020年2月25日 至 2020年4月11日)	
	A. 当期配当等収益額	439,212円
	B. 分配準備積立金	—円
	C. 配当等収益合計額(A+B)	439,212円
	D. 経費	65,256円
	E. 収益分配可能額(C-D)	373,956円
	F. 収益分配金	280,000円
	G. 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F)	93,956円
	H. 口数	140,000口
	I. 一口当たり分配金(F/H×計算口数)	2円
	(自 2020年4月12日 至 2020年7月11日)	
	A. 当期配当等収益額	11,288,673円
	B. 分配準備積立金	93,956円
	C. 配当等収益合計額(A+B)	11,382,629円
	D. 経費	1,489,807円
	E. 収益分配可能額(C-D)	9,892,822円
	F. 収益分配金	7,417,832円
	G. 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F)	2,474,990円
	H. 口数	3,708,916口
I. 一口当たり分配金(F/H×計算口数)	2円	

(金融商品に関する注記)

## I 金融商品の状況に関する事項

### 1 金融商品に対する取組方針

当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。

### 2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券は公社債であります。

当ファンドの主な投資リスクとして、「金利変動リスク」、「信用リスク」、「デリバティブ取引のリスク」、「有価証券の貸付等におけるリスク」等があります。

### 3 金融商品に係るリスク管理体制

#### (1) 市場リスクの管理

ブラックロックソリューション・グリーンパッケージプロダクションチームが日次で計測し、運用部、その他の関係部署等にレポートをイントラネットで配信しております。また、運用ガイドラインのモニタリングはポートフォリオ・コンプライアンスチームが行っており、ガイドライン等を逸脱していた場合、関係部署へ報告され適切な調整を行います。

#### (2) 信用リスクの管理

ファンダメンタル債券運用部により、国内債券の個別信用リスク及び銘柄間の相対価値については独自の定量・定性分析等を行っております。外国債券銘柄等については、社内のリサーチ・データベースによりグローバル・クレジット・チームとの情報・分析結果を共有しております。

#### (3) 取引先リスクの管理

リスク・クオンツ分析部は当社の親会社である米国のBlackRock, Inc. のRQA Counterparty & Concentration Riskチームと共に既存の承認済み取引先の信用悪化のモニタリングを行っており、取引先のデフォルトに対する取引先リスク、発行体リスクのファンドへの影響を分析しております。また、新規取引先の承認に際しては、リスク・クオンツ分析部が新規取引先申請の内容に問題がないかどうか確認を行い、当社の親会社である米国のBlackRock, Inc. のRQA Counterparty & Concentration Riskチームへ申請を行っております。

また、毎月開催される投資委員会では、リスク管理・運用分析手法等について審議を行っております。

## II 金融商品の時価等に関する事項

当特定期間末 (2020年7月11日現在)	
1	<p>貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>
2	<p>時価の算定方法</p> <p>(1) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。</p> <p>(2) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。</p>
3	<p>金融商品の時価等に関する事項の補足説明</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>
4	<p>金銭債権の特定期間末日後の償還予定額</p> <p>金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

## 1 期中元本変動額

項目	当特定期間末 (2020年7月11日現在)
期首元本額	336,000,000円
期中追加設定元本額	10,160,964,800円
期中一部解約元本額	112,000,000円

## 2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	当特定期間末 (2020年7月11日現在)
	最終の計算期間の損益に 含まれた評価差額 (円)
国債証券	△66,866,769
合計	△66,866,769

## 3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。